

はじめに

国家権力犯罪を糾し、新たな運動を巻き起こす一助に 1

秋間浩・上田誠吉往復書簡 9

山野井孝有の訴え 11

冤罪の被害者 12

冤罪の概要 14

スパイ冤罪と戦後の秘密法策動・関連年表 16

2018年1月29日

本会発足6年目の日に

北大生・宮澤弘幸「スパイ冤罪事件」の真相を広める会
事務局



「ソシエテ・ドウ・クール(心の会)」発足記念写真＝1939(昭和14)年6月8日、太黒マチルド夫人(前列中央)宅にて。日中戦争が泥沼化する時期、国際色豊かに談論風発して語学と文化交流の実践研鑽の場となり、太平洋戦争前夜まで続けられた。再び「戦争への道」への動きが露骨になっている今、この一枚の写真は、理想を求めて生きることの意義を問いかけてくる。

前列: マチルド夫人の右ポーリン・レーン、右端に宮澤弘幸。

中列: 左端クロール、2人おいてヘルマン・ヘッカー、松本照男、トパーチャ・マライーニ、ハロルド・レーン

後列: 左端に武田弘道、2人おいてフォスコ・マライーニ、右端は大條正義と思われる。ほかに顔と名が一致しないが瀧澤義郎と、あと4人。撮影者は不明。

* 105頁に「心の会」の紹介記事を収録しています。